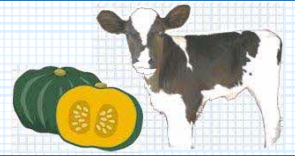


地域力の維持強化による 収益性の高い農業の確立

地域活性化とゆとり！川西で世代をつなぎ未来へ向かう



活動年次：平成28～令和2年 活動対象：美深町川西地区（9戸2法人）

川西地区は、町内でも高齢化が進み、後継者も不在となっている。地域を存続させていくためには、長く農業を継続できる仕組みづくりと、新たな担い手を確保する必要がある。

地区内にはTMRセンターがあり、良質自給粗飼料の確保から構成農場における効率的な生乳生産と地域酪農振興を担う側面がある。

耕種農業者が自分の農業経営の意向を明確にしたことから、新規参入者の受入につながりR2年7月就農した。

1 課題の背景

高齢化の進展
と担い手不足

地域存続の危機！

農業経営・農地は
どうする!?

将来設計を
明確にし、次代に
川西農業をつなぐ！



2 活動の経過

酪農

酪農家4戸・1法人
平均年齢：61.8歳
平均経産牛飼養頭数：71.8頭
TMRセンター1法人(H18年設立)
地区内の構成農場：2戸・1法人



強害雑草
ハルガヤの侵入防止

良質自給粗
飼料の確保

乳牛の栄養状態及び
管理状況の把握

飼料給与
改善の実施

酪農経営
の安定

耕種（水稲・野菜）

◆戸別農家5戸
平均年齢：67.0歳
平均耕地面積：6.8ha



新たな担い手の確保



重量野菜の
収穫は重労働



高収益・新規作物
の導入提案

規模縮小
経営転換

将来設計に応じた
営農計画の樹立

ゆとり・
長く農業経営
を継続

3 活動の成果

草地植生改善の実施

草地植生マップに基づき改善案を提示！

区画No.	面積	草地植生改善方法	検証
11	5	草地リフレッシュ事業による草地更新	草地植生状況による効果を検証
13	2	2年度	
15	4	28	
区画No.	面積	草地植生改善方法	検証
9	2.7	グラスシーダーによる牧草更新 (TY1.5kg, WC0.5kg/10a)	草地植生を確認し、播種量調査を実施
10	1.8	炭カル40kg/10a散布	乳牛の牧草採取状況から、嗜好性確認
8	4	グラスシーダーによる牧草更新 (TY1.5kg, WC0.5kg/10a)	草地植生を確認し、播種量調査を実施
10	4	炭カル40kg/10a散布	乳牛の牧草採取状況から、嗜好性確認
11	1.8	28年結果から継続か検討	

提案に基づき草地更新を実施！B農家では5年間で管理草地の46%を更新した



チモシー割合が増加！

イネ科雑草が減少！

植生を維持し、良好に変化！

表1 B農家 草地更新計画実施後の植生割合

	イネ科牧草	マメ科牧草	雑草	裸地	合計	イネ科牧草内チモシー割合	シバムギ	リトノカリーグラス	カンクネーアルグラス	ハルガヤ	イネ科雑草合計
H28年調査	42.0	5.6	44.1	8.3	100	28.2	5.0	17.9	3.5	16.0	42.4
R2年調査	37.1	1.0	46.8	15.1	100	32.9	6.6	13.4	6.2	11.5	37.7



【乳検個体乳量】
9,816kg(H27) → 9,948kg(R2)
【乳脂肪率】
3.62%(H27) → 3.99%(R2)
乳価の乳成分加算にプラスの効果！

積極的に草地植生改善に取り組んだ結果。個体乳量と乳脂肪率に増加の変化が見られ、食い込める粗飼料に変化してきたことが分かる。

TMRセンター(F法人)の草地更新計画が実行され、難防除雑草対策も視野に、草地からサイレージ用とうもろこしへの転換が取り組まれた。

飼料給与改善の実施

乳牛の栄養管理状況(ボディコンディション調査)をモニターし情報提供！

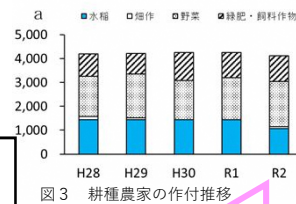


月1回の定期訪問調査から総合的な飼養管理情報をフィードバック

営農の持続性と軽労働化を念頭に飼料バランスの見直しに取り組む

将来設計に応じた営農計画樹立

継続的な面談で将来の意向を明確化！



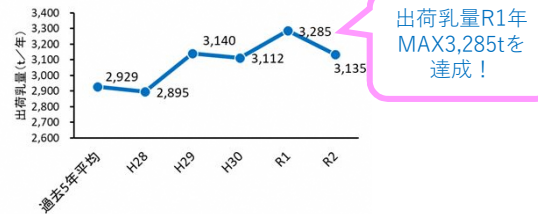
K氏: 水田を他地区農業法人へ売却、経営規模を縮小して経営継続
H氏: 高齢化に対応した作付構成に変更を検討。第三者継承に関心有り

水田の「バトン」が次代に渡された！

・H29年ごろ先行して2戸の耕種農家が将来設計を明確化し、新規参入者の就農(R2年7月)につながる。→水稲の作付減少が下げ止まった。

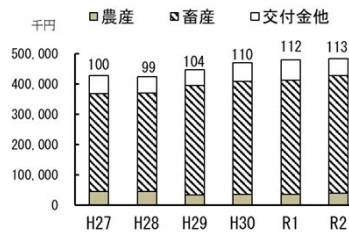
経営経済的評価

地区の出荷乳量は増加基調で推移！



出荷乳量R1年MAX3,285tを達成！

最終到達目標:H27農業粗収益を超えた！



H27年対比113%！

4 今後の対応

川西を次代につなぐためには！

酪農・耕種における各管理作業の見直しと軽労働化

営農の維持と持続性

地域力の維持

ライフステージに合わせた経営の構築



川西地区